



事務連絡  
平成25年6月7日

公益社団法人全国老人保健施設協会  
会長 木川田 典彌 殿

厚生労働省老健局老人保健課長  
迫井正深

要介護高齢者の生活機能評価の検討等に資する情報提供について（御依頼）

謹啓 時下益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、平素より、当課の業務に対する多大なご協力と介護保険事業へのご尽力につき、厚く御礼申し上げます。

さて、ご案内のとおり、急速に進展するわが国の高齢化に対応するため、厚生労働省としても「地域包括ケアシステム」の構築を推進することとし、先般の制度改正や介護報酬改定においても、将来の介護ニーズを見据えた対応を講じてきたところであります。

そして、これらの中では、特に介護サービスの質的評価に関する取組みが極めて重要であり、前回の介護報酬改定に係る介護給付費分科会の審議報告においても「自立支援」という介護保険制度の基本理念を追求した質の高いサービスの提供を目指し、介護サービスの質の向上に向けた具体的な評価手法の確立を図ることとされております。

このような中、先般ご提供頂いた「BMC Geriatrics(2013)」掲載の文献にまとめられている「R4システム」におけるICFに基づく高齢者のステージング手法は、現行の世界標準であるICFコードに基づいて高齢者の生活機能を5段階のステージに分類するものであり、簡易かつ短時間に高齢者の生活機能を適切に評価するとともに介護の質的評価の標準化や見える化を推進する手法として今後の活用が期待できるのではないかと考えられます。

つきましては、将来の要介護高齢者の生活機能評価指標や介護サービスの質的評価のあり方に係る検討の基礎的資料として活用できるよう、更なる情報提供等、貴会のご協力方につき引き続きよろしくお願いいたします。